



しおかせ

令和4年3月18日発行 松岡弘悟

第75回卒業式 式辞

大森第一中学校第75期の皆さん、卒業おめでとうございます。

校庭の河津桜は、貴方たちの進路決定を祝うように咲き始め、校門の染井吉野は貴方たちの未来を感じさせるように今にも咲かんとばかりに蕾を膨らませている本日、第75回卒業証書授与式を挙行できることにこの上ない喜びと感謝を申し上げます。

はじめに、高い所からでございますが、保護者の皆様、お子様のご卒業、おめでとうございませす。お子様が生を受けてから15年この年月には、たくさんの喜びと笑顔、また、多くの御心配と御苦労があったことと御推察いたします。

本日、義務教育を終えるにあたって、立派に成長し、卒業証書を手にする姿に感慨も一人(ひとしお)のことと拝察申し上げます。

教職員にとりましても、三年間の成長を頼もしく思い感慨深いものであります。それもひとえに、皆様方の本校にお寄せいただいた御協力と御理解があつてのことと謹んで感謝を申し上げます。また、一昨年三月の学校臨時休業から始まった感染拡大防止の対策では、多大なるご理解とご支援・ご協力をいただき、無事に教育活動を進めることができました。

有難うございました。

さて、卒業生の皆さん、いま一人ひとりに卒業証書を手渡しました。受け取った卒業証書の意味するものは、貴方たちのたゆまぬ努力だけでなく、深い愛情で支え励まし、育ててくれた保護者や地域の方々、熱心な教えて導いてくれた先生方、そして、貴方たちの生活を献身的に支えてくださった主事さん方の結晶であることを心に刻んでください。

今年の卒業式も、コロナ禍により来賓の臨席はありません。保護者の参列も制限しています。新しい学校生活と言われ、様々な制限がある中で二年間の学校生活を送ることになりました。制約がある中でも、貴方たちは一丸となり「上級生が下級生の手本になる。」という本校の伝統を引き継ぐとともに、更に良いものにしようと努めてくれました。貴方たちの努力に敬意を表します。

四月から、新たな環境で、自分の道を歩いていくことになります。

学校生活で、三つの「あ」（「あいさつ・へんじ」「あつまり」「あとしまつ」）を意識してほしいと話してきました。中学校を卒業するにあたって、これからは「元氣」「本氣」「根氣」の三つの「氣」を意識した生活を送ってもらいたいと思っています。

まずは、「元氣」です。健康でなければ、行動を起こすことはできません。身体が健康であるということだけでなく、心が健康でなければ元氣とは言えません。心と体のバランスを大切にしてください。

次に、「本氣」です。自分の気持ちと正面から向き合ってください。本当に自分はそれを望んでいるか、時間をかけて考えてください。

最後に「根氣」です。「石の上にも三年」ということわざがあります。あきらめることなく、自分で決めたことに納得できるまで粘り強く挑戦してください。

貴方たちの活躍が期待される社会は、変化が激しく予測が困難な VUCA（ブーカ）な時代、答えがひとつでない世界と言われています。

行動を起こすことで君たちの未来の扉は開かれるでしょう。勇気をもって一步を踏み出せることを願っています。

門出に、はなむけの言葉を贈ります。

未来への扉は叩いただけでは開かない
そこには自分だけにしかない鍵がある
その鍵とは、ほんの少しの「勇氣」と「知恵」
君たちは家族の希望の星 地域の期待の星
自分の力で未来の扉を開け

三つの「氣」を意識しながら、自分の無限の可能性を信じて、未来を切り拓き、笑顔の素敵な人となることを期待して、式辞といたします。 令和4年3月18日

